

社長必殺5m 潜水コース

知る人は知っている！知らない人は知らない！どうでもいい話。
実は「LOGの社長はとっても耳抜きが苦手です」毎年耳が抜けない日が幾度もあります。そこで、お客様に満足してもらい、自らの耳にも負担の少ない「鼓膜限界5m 最大深度コース」を考えました。これは鼓膜の限界は7～8mと小学生から素潜りをやっていた経験から生み出した必殺コースです。

PS 潮が左→右に流れている秋口には、ちょっとしたドリフトダイビングも可能。

※耳が抜けない方は、こんなバカな真似はしないで下さい。

最大水深	平均水深	移動距離（往復）
約5m	約3m	約550m
目安潜水時間		難易度
約60～70分		★★★★★

※難易度は☆1～☆5まで。☆の数が多いほどレベルが高い



潜り方アドバイス

（社長以外のスタッフに聞いてもわかりませんか？）

「ん～ん！このコースは難しいぞ！！」とりあえずLOG前からENし沖の隠根「クサフグ城」の根のトップ-2mでクサフグとたわむれ、その後-5mをキープし右側に進みます。「コンパスは何度ですか？……そんなもん知るか！」根のトップ-5mを発見！「キサゴがキレイです」また右に進む！根トップ-5mを発見！「ここがトンボ隠れ根（通称：カメ岩）」です。-5mをキープして「一の瀬・二の瀬」を右壁に「二の瀬」でUターン！「一・二の谷」に入り、次は左壁に進む。ここで一つアドバイス！同じ場所に戻るだけでは面白くないので、水深を安全停止も兼ねて-2mをキープ。「安全停止いるの??」ここがテクニク！さっきと違うポイントを感じる。「一の瀬」先端の「抜け道水路」を通りトンボの潜行ブイに到着。

このコースの醍醐味は、何と言っても「一の瀬」のドロップオフを浅めの水深で潜ることにより、宙に浮かんでいる感覚が味わえることです。「え～！ここ越前？」みたいな！！

※アドバイスを読んでも分からない方はやめて下さい！一度社長に連れて行ってもらって下さい。



社長とのやり取りコメント



Q1. どうしてこんなコースでダイビングしましたか？

社長 15～16年前に耳が壊れた（中耳炎のキツイやつ）とき、耳鼻科の先生に「三田村さんは耳道が細いため毎日潜るには耳の負担が大きい！仕事やめなさい！」と言われ「やめれるか！」という気持ちから思いつき、色々なコース！潜り方をやってみた結果、自分の耳にも負担が少なく、お客様にも楽しんでもらえた。

Q2. 一番の醍醐味は「ドロップオフでの宙性浮力」ですが、二番を挙げるならどこですか？

社長 透明度があまり良くないとき、移動の間なんにも見えないドキドキ感。そして岩が見えてきたときの喜び。

Q3. え～！そんな大丈夫ですか？

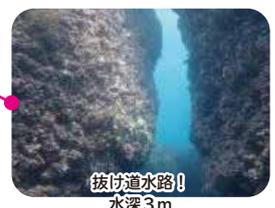
社長 大丈夫！水深5mだから神頼み「水面顔出し確認」OK！

Q4. 社長とこのコースを潜ったお客様の感想は？

社長 とっても喜んでもらえたヨ！「こんなダイビング初めて！」「まるで沖縄か海外みたい！」「どうしてコンパスも見ないで分かるの？」などなど…ほとんどのお客様はLOGで100本以上潜っている方ですヨ。

Q5. 最後に一つ、このコース以外でLOG前の見所は？

社長 みなさん、ダイビング＝5m以深！みたいなどころがあるけど、LOG前の面白さは5mより浅い深度が魚も多いし、地形も面白い！何より安全だからネ♪



これ以外にも「ここでは書けない！！」秘密コースがあるみたいですよ！！

気になる方は社長に直接聞いて下さい。

PS 私には怖くて聞けないです…